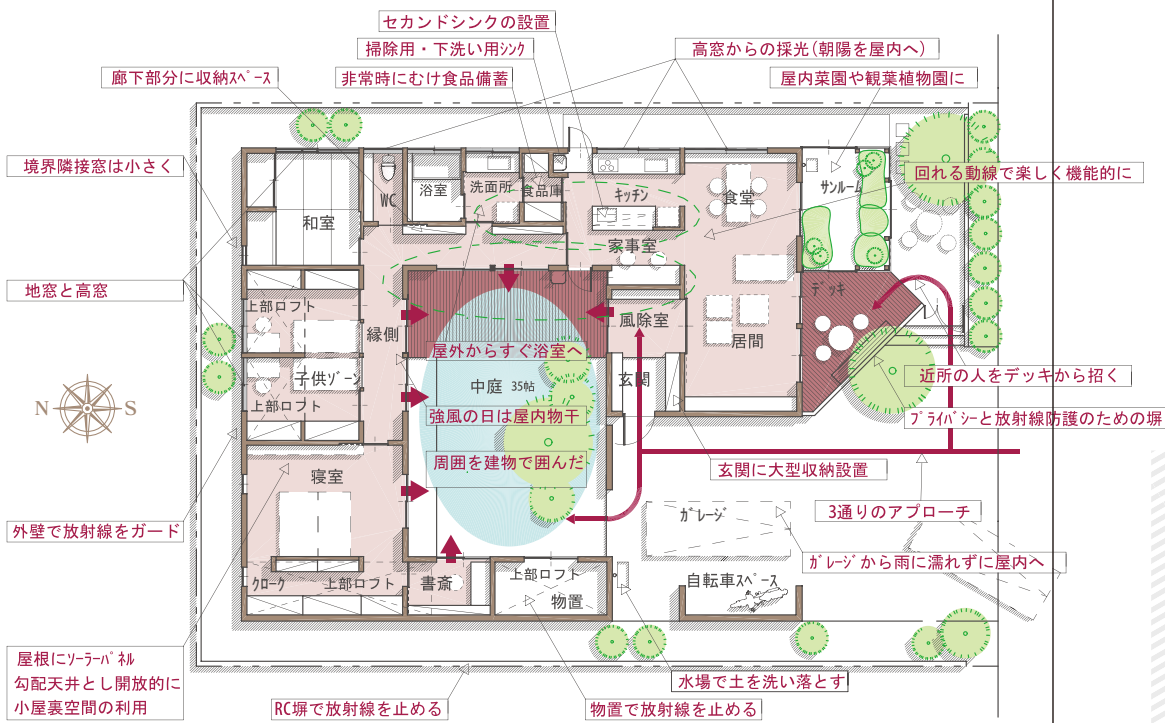


ふくは家 うち

子供たちが安心して遊べる
中庭空間を持つコートハウス

わたしたちがわたしたちであるための家とはどんなものだろう。たとえば福島に住みたいと考えたとき、放射能対策を検討しないわけにはいかないと思いました。放射性物質・放射線の特性を知ったうえで、それへの対策をおこないながらも自由に楽しく住む。豊かな空間を手に入れる。そして震災で学んだ家族や地域のつながりを計画にこめました。



住宅床面積 149.47㎡ 45.125坪 ガレージ・物置面積 44.30㎡ 13.375坪 延べ面積 193.77㎡ 58.50坪 (サニタリー 9.93㎡ 3坪含まず)

- ✓放射線対策がしやすい**平屋**としました。
- ✓建物で遮断した**中庭空間**をつくり安心して遊べる場所とします。
- ✓中庭中心に家族の気配が感じられる一体感のある、気持ちよい空間を目指す。
- ✓コンクリート塀や物置等で放射線を止め、開口は放射性物質から離れた位置にとる。
- ✓窓の大きさ・位置、高さに注意する。そして外壁材は重い材料を選定。
- ✓外部との遮断による閉鎖性を補うために**3方向アプローチ**→地域の絆に考慮。
- ✓屋内菜園等のためのサニタリーや屋内物干し空間を設置。
- ✓本計画は木造ですが高放射線量地域は外壁はコンクリート造にすべきです。

